

# 大和郡山 防災ニュース 3. 8月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

## 災害対策基本法改正

## 要支援者の『個別避難計画』づくりを進めてまいります！

要支援者の「個別避難計画」について、本市では平成25年からその作成に取りかかりましたが、その支援体制づくりはなかなか進んでいないのが現状です。本市には要支援者に該当する方が現在約15800人おられ、このうち約3700人から平常時から支援者に名簿を提供することへの同意をいただいておりますが、要支援者の中にはその必要性についての理解が浸透していないため、災害時に支援が必要な方の同意がないまま、名簿に掲載されていない



ケースがあると、以前より民生委員などから指摘されておりました。このことについて、5月に改正災害対策基本法が施行され、要介護3以上の方や身体障がい者手帳1、2級所持者でハザードマップで危険な区域に住む方など（推定約1500人）は市町村の努力義務として、個々の要支援者の実情を知るケアマネージャーや相談支援専門員などの福祉専門職の参画を得ながら、数年かけて個別避難計画を作成していくこととなり、本市においても来年度以降、数年かけて計画づくりを進めていくことになりました。

詳細はまだ決まっていますが、福祉専門職がこれらに該当する要支援者について、名簿掲載の同意や避難計画策定に関わっていただくことで必要な方に漏れなく避難体制づくりを進められることが期待できます。また、同じく今回の法改正で事前の登録制度となる福祉避難所への避難もこの申請者の中から登録されていくものと考えています。

## 要支援者の避難には地域の支援が必要！

しかし、避難計画を立てた要支援者の多くは自治会（自主防災組織）など地域の力がなければ、実際の避難支援行動にはつながりません。ところが本市においては、支援の主力である自治会の2割しか要支援者名簿の提供に係る個人情報取扱の協定を締結できていません。その理由として、高齢化で要支援者の数が多すぎて「支援したくても地域に支援できる若い人がいない」という実情があります。



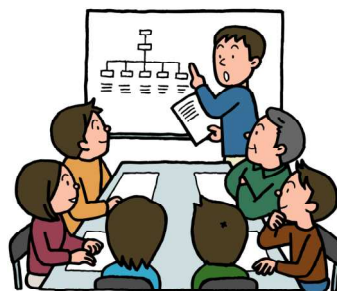
## 要支援者同士が助け合う「マイ計画」の作成を！

市では、要支援者の中でも「自分で歩いて避難できるけど災害時には少し不安」というレベルの方には、近所の要支援者同士と一緒に逃げる「マイ個別避難計画」を御自身でつくっていただき「地域の支援が不可欠な方」と「要支援者同士の助け合いでカバーできる方」を分けることで自治会の負担を軽減した要支援者支援体制づくりが可能であると考え、次年度に向けて現在「マイ計画の手引」を検討中です。

また、支援者不足については、地域の中高校生に協力してもらうことも有効です。防災は地域全体の課題です。役員だけがしんどい思いをする必要はありません！学生さんも含めた地域全体に声をかけて、その力を結集することで進めていきましょう。世代間の交流により地域コミュニティの活性化も期待できます。

## 要支援者名簿は、個人情報協定の締結すれば、地域での避難計画策定時など「必要なとき」だけ供与を受けられる！

自治会長の中には、要支援者名簿を受け取ると個人情報掲載の公文書を常時管理する責任の負担が大きいので受け取れない、とおっしゃる方もおられます。そこで市では「名簿は地域において避難計画を検討・策定するときの参考資料として提供し、計画作成後は市へ返還していただくことも可能とする」としました。一旦返却されても協定を締結している限りは、必要なときにいつでも再提供いたします。また、要支援者の住所と氏名だけを抜き出した簡易名簿も引き続き、選択していただけます。要支援者名簿は、地域の負担が重たい制度というイメージを変えていただき、地域の避難計画、要支援者支援計画の策定にぜひご活用いただきますようよろしくお願いいたします。



## 「自主防災組織と消防団 防災のつどい」終了しました。

5月に開催の「防災のつどい」のうち、東地区（平和、治道、昭和地区）の会（5月20日）は、大雨の恐れがあったため、7月29日に順延して開催いたしました。当日はその5月20日（～翌21日）の大雨の際にお問い合わせをいただいた自治会より、避難情報は必ずレベル3（高齢者等避難）を経て、レベル4（避難指示）を発令してもらえるのか？という質問をいただきました。その回答として、できるだけレベル3を経て、レベル4を発令していきたいが、休日や夜間では避難所開設準備の間に水位が上がってしまうことがあり、やむを得ず、レベル4から発令することがあると回答いたしました。なお、今年の「防災のつどい」は5回の開催で117自治会126名のご参加がありました。ありがとうございました。

## 今年も市主催地区防災訓練中止になりました。

昨年、新型コロナウイルス感染防止で中止となった昭和地区の防災訓練ですが、今年も残念ながらコロナ感染の再増加を受け、中止することとなりました。来年こそは開催できればよいのですが---

## 自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

## 少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#) 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください

[大和郡山市消防団へようこそ](#) 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課